

総務常任委員会審査報告

3月12日に付託された各議案は、3月16日から22日のうちの4日間、机上審査と現地調査が行われ、最終日の本会議で、高橋正弘委員長から審査の経過と結果が報告されました。
主な審査内容をお知らせします。

問 二本松市復興支援交付金の各事業への充当・用途の基本的な考えはどのようになっているのか。

答 県のメニューは、各分野多岐にわたっており、本市でも、健康管理対策、各産業の復興支援、防災対策、教育の充実などに当て、復興に向けて有効に活用していく。

問 新年度予算で計上されている、地域新エネルギー推進事業で、各種調査委託料の内容はなにか。

答 新エネルギーにおいて、本市で有望なものは何か、どの分野が実現可能かなどについて調査研究を行い、可能なものは実証実験など取り組んでいく。

問 道の駅『安達』管理運営費の中で、下り線施設について、備品は市で整備するのか。

答 建物に附帯する大型備品など初期投資は、市で整備していく。

問 交通対策事業費で、バス待合所建設工事が予算計上されているが、場所はどこで、何カ所建設する予定なのか。

答 建設箇所は、針道地区の宮ノ平など2カ所を予定している。



岩代支所改修工事の説明を受ける様子

問 職員研修費の予算で、職員の資質及び能力向上、人材育成のための研修を実施するとあるが、その内容と効果はどうか。

答 専門的な知識を深めるための専門研修や公務員としての資質を高めるために、自治研修センター等へ派遣している。職員の接遇向上研修は、継続していくことで効果が現れてきている。

今後、市民サービスの向上を目指して取り組んでいく。

3月定例会で総務常任委員会に付託された議案

議案第5号	二本松市復興支援交付金基金条例制定について
議案第8号	二本松市税条例の一部を改正する条例制定について
議案第14号	平成23年度二本松市一般会計補正予算
議案第17号	平成23年度二本松市土地取得特別会計補正予算
議案第27号	平成24年度二本松市一般会計予算
議案第31号	平成24年度二本松市土地取得特別会計予算
議案第40号	平成24年度二本松市茂原財産区特別会計予算
議案第41号	平成24年度二本松市田沢財産区特別会計予算
議案第42号	平成24年度二本松市石平財産区特別会計予算
議案第43号	平成24年度二本松市針道財産区特別会計予算
議案第49号	二本松市東日本大震災復興交付金基金条例制定について
議案第50号	平成23年度二本松市一般会計補正予算（追加提出議案）

市民産業常任委員会審査報告

3月12日に付託された各議案は、3月16日から22日のうちの4日間、詳細な審査が行われ、最終日の本会議で、菅野明委員長から審査の経過と結果が報告されました。
報告された審査の主な内容をお知らせします。

問 先に除染モデル事業として2棟を実施したとのことであるが、なぜ2棟のみの実施に留まっているのか。また、近く29棟の除染を屋根・外壁・庭など、いわゆるフルメニューで実施することであるが、平成24年度は効果的な場所の除染に限定するなど除染の手法を変えるべきではないか。

答 除染が2棟のみの実施に留まっている理由として、国・県から除染の施工単価が示されなかったことなどから、2棟の除染に留まっている。今後本格的な除染を行う場合、簡易な発注方式を検討し準備を進めているところである。また除染の手法の検討については、モデルで除染した家屋が2棟のみのため、データが不足している。効果的・効率的に行えるようデータをより多く集めるため、除染を実施する29棟はフルメニューで実施したい。

問 水田、畑作の原発事故対策事業は、先に予算を補正し措置したものであるが、そのほぼ全額を繰り越すことについてどのような経緯でこの状況に至ったのか。

答 農地の除染は取り組みの前例が無く、除染の単価、手法及び委託先の検討、委託後のみちのく安達農業協同組合との調整や協議などに多く時間を要したこと、また県の除染の指針が2月になって示されたことにより除染作業が遅れていることは反省すべき点である。今後は農家などへの説明会や、実施団体との調整を行い早急に除染事業を進めていきたい。

問 畜産除染対策事業委託料について、3カ年計画で市内の牧草地の除染を行うとのことであるが、

実施希望者が当該年度予算を上回った場合補正により増額する考えはあるか。

答 希望者多数となった場合は、実施方法など具体的な部分を詰め、早期の実施に向け増額補正を要する場合は対応したいと考えている。

問 企業誘致推進事務について、市内において(財)日本立地センターが復興工業団地調査を進めているとのことであるが、造成することとなった場合、国・県・市の費用負担は。

答 復興工業団地であるが、位置付けは市の工業団地であるため、市で造成費用を負担することとなる。その財政措置は国・県への要望も含め様々な角度から検討しなければならない。また誘致企業との共同開発の検討も行っていきたい。

問 ジェネリック医薬品の普及促進について、安達医師会との調整はどのようになっているか。

答 安達医師会から利用促進に対しての了解をいただいた。ジェネリック医薬品の普及促進策としては、使用した場合の差額の通知や希望者への意思表示カードの利用を予定しており、平成24年度10月からの保険証交付の際に配布する予定である。



とうわ東中山間地域総合整備事業の現地調査の様子

3月定例会で総務常任委員会に付託された議案

議案第14号	平成23年度二本松市一般会計補正予算
議案第15号	平成23年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算
議案第18号	平成23年度二本松市公設地方卸売市場特別会計補正予算
議案第27号	平成24年度二本松市一般会計予算
議案第28号	平成24年度二本松市国民健康保険特別会計予算
議案第29号	平成24年度二本松市後期高齢者医療特別会計予算
議案第32号	平成24年度二本松市公設地方卸売市場特別会計予算
議案第33号	平成24年度二本松市工業団地造成事業特別会計予算
議案第44号	平成24年度二本松市工業団地造成事業会計予算
議案第50号	平成23年度二本松市一般会計補正予算（追加提出議案）